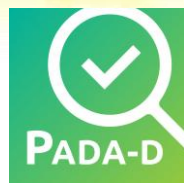


作業療法の可能性

医療福祉の現場に先進技術を入れたらどうなる？

生活行為の問題点を焦点化出来るアプリ

PADA-D



令和7年 11月 16日（日） 9：50～ ZOOMにて開催！！

老年期分野では令和5年度より会員の階層性知識の習得を目標に、3ヵ年計画で研修会を企画しています。1年目は、社会状況を踏まえた基礎的知識のアップデート、2年目は基礎知識を得たうえでの応用でした。

今年度は3年目となり、昨今医療福祉の現場でもAIやICT技術の導入が徐々に進み、タブレットやノートパソコンを使用した業務効率化や作業療法の幅の広がりから、「**老年期作業療法×先進技術**」をテーマにしました。

そこで今回、田平先生をお招きし、AIやICT初心者にも分かりやすく、今医療福祉の現場で何故必要なのか、どういう風に活用されているのかを解説して頂き、先生の開発された「PADA-D」を実際の事例を通して認知症高齢者の問題点抽出からのアプローチまでを一緒に学べればと思います。

#認知症 #老年期作業療法
#医療福祉 #現場で使えるアプリ #問題点抽出
#AI #ICT #作業療法の新しい切り口

何か気になる
#を見つけたら
裏面もチェック！



開催方法

ZOOMにて開催

定員

60名

参加費

会員(他のOT県士会員、PT・ST福岡県士会員も含む)：1000円

非会員(日本作業療法士協会会員のみも含む)：8000円

学生：500円

その他(上記以外)：3000円



公益社団法人

福岡県作業療法協会

Welcom to Fukuoka OT Association



講師:田平 隆行(タビラ タカユキ)

PADA-D
って何?

生活行為工程分析表(PADA-D)は、認知的視点からADL/IADLを工程分析し、どの工程の自立度低下が大きく、どの工程が残存しやすいかを可視化するために開発されました。目標設定や効果指標としても有用性が高く、アプリ版では工程のイメージ強化を図ったものです

当日スケジュール

時間	テーマ・講師
9:50～10:00	オリエンテーション
10:00～11:30	講師：田平 隆行先生（鹿児島大学） テーマ「生活行為の問題点を焦点化できるアプリ PADA-D」
11:30～11:45	質疑応答
11:45～11:50	アンケート配布後終了

申し込み期間：令和7年9月20日0:00～11月2日 23:59

申し込みURL

<https://rounenkibukenshukai7.peatix.com>



上記のURLまたはQRコードからPeatixのチケットをお求めください。この手続きが申込みとなります。参加定数に達しました時点で締め切らせていただきます。申し込みが定員に達した時点で、キャンセル待ちチケットを参加定数の1割まで販売致しますので、申し込んでください。※Peatixの利用には、スマートフォンによるアプリ、もしくはPCが必要です。事前にアプリのインストール、アカウントの登録が必要です。研修会に関するミーティングIDなどの連絡もPeatixにて行います。申し込み後ログアウトしないようお願いします。スマホなどの通知を「許可」の状態にしてください。問い合わせについても、Peatixから直接行うことが可能です。

注意事項

1. 研修会の資料は前日までにPeatixを通してメールにて配布いたします。
2. 参加希望者が定員に達した場合、キャンセル待ちチケットをご利用ください。キャンセルが出次第、キャンセル待ちチケット購入順に連絡させていただきます。キャンセル待ちチケットの有効期限は11月2日までとさせていただきます。
3. 支払いの方法によって手数料がかかりますのでご了承ください。
4. 申し込みをキャンセルした場合、支払いの方法によってキャンセル料が発生する場合があります。その場合のキャンセル料は自己負担となります。詳細はPeatixホームページにてご確認ください。（キャンセル可能期日：研修会前日まで）

問い合わせ先

福岡県作業療法協会 教育部老年期分野 高野 健太（リハビリテーションセンターODETTO）

mail : fotk.rounenki00@gmail.com